

平成27年5月

## 新家族主義経営

古田土会計では全社員が年2回「日本を美しくする会」のトイレ掃除に参加します。このうち1回分のうちの社員がサブリーダーに在り、小中学生や初めて参加した人達を指導します。女性社員は吉田事務の指示のもと500~600人分のカレーライスと朝7時頃から作り始めます。トイレ掃除には初めて参加する小学生、PTAの方々、学校の先生、会社の社員の方々も多いのですが、トイレ掃除が終わると、初めて参加した人は、夢中に在り、感動した、いろいろな気づきを得た、次も参加したい等と言ってくれます。初めて参加した人が完璧にピカピカに便器を掃除します。トイレ掃除を仕事という業者よりずっときれいに磨き上げます。何故このように掃除ができるのでしょうか。それはリーダーが優秀だからです。道具が工夫されたものを使っているからです。去年の12月のトイレ掃除では、若い女性社員にトイレ掃除の体験をしてもらいたいためカレーライスの料理は30代~50代の中年のおじさん方に任せました。ふたんは包丁も握ったことのある人もいたと思います。しかし出来上がったカレーライスは多造と同じくとてもおいしく、うちの子は3杯も食べたと言っているお母さんもいました。何故中年のおじさんでもおいしいカレーライスが作れるのでしょうか。リーダーである吉田事務が優秀だからです。私は女子社員に料理をしたこともない中年のおじさんでもおいしいカレーライスが作れる理由を聞きましたが、よい答えがなかったため、カレーライスも会社経営もリーダー（社長）の、社員が優秀でなくともリーダーが優秀な上、よい経営はできると教えてあげました。聞いている人は無理矢理納得です。中小企業において優秀なリーダーだと思えば、明確な経営理念や経営方針を持ち、経営計画書を作り、月次決算により毎月全社員で数字をチェックしている会社ですが、％では損益分岐点、比率90%以下の会社、理想は80%、B/Aでは、自己資本比率50%以上の会社、低くても30%の会社であると思っています。税金を払わないと自己資本比率はよくなりません。総資産を少なくないと自己資本比率はよくなりません。必要の預金を確保しながら、借入金を減らすとよくなりません。よく税金を払うく、利息を払って節税をしたほうがましと言っている人がいますが、もたらないお金の使い方です。年約3,000万円の利息を1,200万円にして1,800万円のうち900万円を社員の賞与にすれば、30人の会社なら、1人30万円賞与が増えます。経営者の中には、いくばく賞与を出しても喜ぶのは1回だけであとは当たり前になると言っている人もいます。しかし私達中小企業の賞与は世間相場以上に払われているのでしょうか。たとえ社員が1回しか感謝してくれなくても社員と家族の生活が豊かになっていきます。

4月18日に(株)ジョイナス様の35周年記念パーティが舞浜のホテルで開催されました。社員さん、パートの家族を含めて総数180名位でした。当日は全員が宿泊し、翌日はDisneyランドへ行く予定です。外賓の人は送迎業者等少数です。得意先は呼んできません。景品、イベントなども豪華でした。山田社長の言葉です。うちの女子社員は安心して結婚できると言っています。パートで働いてくれている女性社員が会社が社員を大事にしているのと安心して自分一人で子供を育てられると思っています。当然ですけど会社の業績もよく、社員の給与も高く、％の自己資本比率も高いです。作っている会社、社員のモチベーションの高い会社は、家族同伴の忘年会、社員家族、レレション、バーベキュー大会、運動会等をやっています。お客様を接待するより、社員を接待するのには社員と家族に喜ばれ、感謝した社員が知恵を出し、お客様に喜ばれ、感謝される商品や企画、開発し、サービスを提供することにより、粗利益が増え、会社が儲かり、その一部を社員に分配する。この好循環を作れる人こそがよいリーダーではないでしょうか。中小企業だからこそ、社長の思いの強さにより、パートさんまで含め社員と家族を幸せにする経営ができます。株主を気にすることなく、社員を家族同様に大事にする新家族主義経営の時代に早くしたいものです。

古田土 満